

報告



黄金山山頂エリアの整備 11月30日(日)

11月例会

～「黄金山」見晴らしを取り戻そう！～

参加：会員37名、地元他19名、南区職員7名、計63名



雲一つない快晴のもと、会員、地元、南区職員合わせて63名が黄金山に集まり、展望改善のための整備活動を行いました。昨年は工事中だった南側展望台も完成し、より眺望を楽しめる街山での活動に参加者の気合も十分。4つのグループに分かれて活動を行いました。

A班は西側斜面左側、道路に一番近く雑木と篠竹で鬱蒼とした場所を手鋸を使って下方から整備開始。急斜面で作業しにくい場所だが危なげなく作業が行われてきました。きれいな棚積みを行うように心がけていたので、整備後はお手本のような景観が完成しました。

B班は西側斜面の中央でチェーンソーを使用して20mを超えるアラカシの伐木実施。準備を進める中で、上方にあるナンキンハゼに掛かる可能性があるため、先にそちらの伐木を行った。2本ともチルホールを使用して狙い通りの場所へ安全に倒す事ができました。

C班は西側斜面右側、山道沿い雑木、篠竹の除伐と萌芽したアラカシの処理と6mのアカメガシワの伐木。作業範囲が広い中で、砂原リーダーがこまめに声掛けを行って、危険の芽を摘んでいく姿がかっこよかったです。班員の連携が良く、予定通



りに作業完了。

D班は北展望台に上がるスロープ脇の斜面と楠那に続く山道整備を実施。篠竹は刈払機で軽快に処理し、山道に続く入口を分散して手鋸で整備した。当初は入口が判別できないほど荒れていたが、午前中の内にきれいに整備完了。午後はC班の援軍としてよく伸びた篠竹処理を行った。



黄金山西側斜面を下から上へ見上げると、イロハモミジの紅葉が旬を迎えており、青空の背景に秋色のグラデーションに時間を忘れて見入ってしまう。お昼には調理班が作る特製トウガン入り豚汁に舌鼓。花も団子もいただいた良い1日となりました。今日得た心地よい時間が未来にも続きますように。出会いに感謝・自然に感謝。

【1班 班長 吉村 隆文】



青空の下、朝のミーティング



篠竹整備



受け口の切り終え



料理班に感謝